市制施行30周年記念
市の花
やまぶき
昭和56年3月1日制定

宇治市政だより

11/11
昭和56年
（1981年）
第575号

発行 宇治市
編集 文書広報課
宇治市宇治琵琶33番地
電話 ㉒3141(代)
●毎月1日・11日・21日発行

目の不自由を超えて

明るく生きる今里さん一家

小倉町南浦で鍼灸（しんきゅう）治療院を営む今里忠幸さん（三十四歳）と弘美さん（三十七歳）夫婦は、二人とも目が不自由。小学校四年生の幸平くんと、今年一年生になったこずえちゃんの二人を育てながら、毎日毎日を元気にがんばっています。今里さんの生活や意見を紹介する中で、国際障害者年に、一人でも多くの市民のみなさんが、いろいろなことを知り、感じ、行動していただきたいものです。〔広報係　藤井功〕

買物で商品の説明を聞く弘美さん（小倉町の店先で）

「目のわるい人のそばに寄ると、うつって見えんようになるのとちがうのんか…」、今里さんが知人から聞いた話です。また、中途失明の人が、今里さんのところへ来て「めくらになってしもうて…」とないたそうですが、その人自身が目の不自由な人をいやしんできたと思える言葉です。

おどろくような話ですが、私たちは少しも偏見を持っていないと言えるでしょうか。〝目の不自由な人を何んと呼んだらよいのだろう？〟と気遣いすることがよくあります。「盲人、視覚障害者、目の見えない人…など、何んと呼んでも、互いに平等で心のこもってないものならむないのじゃないですか」と忠幸さんは言いました。

今里さん夫婦は口をそろえて言います。「見えるか、見えないかだけの違いです。それはちょうど、人間に右きき左ききがあるようなものです」と。

自分の足で歩く大切さ

最近では、目の不自由な人への意識もかしずつ変わり歩行の手助けをしている姿を実際にも見かけます。弘美さんは、遠方に出かけるときは、やっぱり不安なものです。マスコミの影響でしょうか、気軽に手助けしてくれる人も多くなりました。でも手助けで、うしろから押されるときが一番恐いのです」と語ってくれました。

一方、京都府内に盲導犬訓練センターをつくろうという運動があるのですが、忠幸さんは、「盲導犬がいれば便利だと思いますよ。でも、人間が本来持っている自前の感覚を働かせ、発達させることも大切だと思いますね」と言います。

ところで、市では、宇治市保健医療センターや各地区の公民館など公共的な建物に点字ブロックやスロープ、手すりなどを設け、広く市民のみなさんに利用していただけるよう配慮をしています。歩道や交差点などにも点字ブロックが設けられるようになってきましたが、もし点字ブロックの上に自転車や荷物が放置してあったり、スタンド看板が立てあったりすれば…点字ブロックが役立たないばかりか、大変危険。みんなで注意したいものです。

外出は生活の基本

今里さん夫婦は、長男の幸平くんと長女のこずえちゃんの二人を育てています。「私たち目が不自由だからといって、子どもを育てるのに特別苦労していませんよ。でも、子どもが病気になったとき、顔色や目のうるみ具合がわからないので心配なこともありました」と、二人は言われました。

十月下旬のある日、弘美さんが買物に出かけるので、いっしょに行くことにしました。

出かける前に、キャベツ一個、にんじん五本などと、通常のタイプライターで打っておき、その紙を持って買物に行くのです。歩き慣れた道なのでしょうけれど、私よりも早く歩かれるのです。いくつ目かの曲り角で、サッサッと曲って行かれるのには、本当に驚きました。この驚きの中に、私には〝早く歩けないのでは？〟という先入観があったと言えそうです。私たちは先入観が偏見に成長しないよう、事実を正しく見る目を失ってはならないと思います。

さて、弘美さんが店に着くと、店の奥さんが買いたいものを書いた紙を受け取り品物をそろえます。その間に、特売品や新入荷のもの値段などを説明してくれます。

買物の行き帰りで気になったこと。広くもない道の真中に自動車を止めたままにしていたり、白ツエを使って歩いている弘美さんの真横をかなりのスピードで走り去ったり自動車やバイク、自転車が多いことでした。弘美さんもも少し道端を歩けば思ったのですが、道の側溝にはふたがないのです。弘美さんの「溝に落ちたことも何度かありますよ。歩道の上がり、下がりも恐いです」ということばから、側溝のふたのないことや歩道の段差がはじめて見えた思いです。

仕事にはげむ忠幸さん（治療室で）

広げて欲しい社会参加の道

選挙は社会参加の基本の一つです。忠幸さんは言います。「市会議員や市長の選挙は一番身近なものです。全立候補者の経歴や政見がわかるように、点字の選挙公報がほしいですね。できないことではないと思います」。

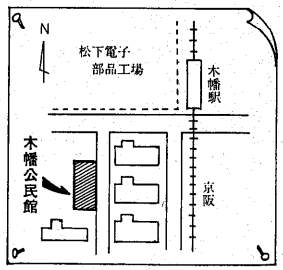
弘美さんは子どものことを思って「福祉事務所でやっている母子家庭キャンプなどに、私たち親子も参加させてもらえたらよいなぁと思います。私たちだけでは子どもにキャンプの楽しさなどを教えてやれませんから…」と言い、主婦の立場から「スーパーマーケットなどで、買物のアドバイスをする身障者のためのガイドを設けるように、市の方で指導してもらえたら大変助かるのですがね」と要望を述べました。

宇治市社会福祉協議会のボランティアグループである宇治リーディング・ボランティア（代表・竹村竹生さん）では、目の不自由な人のために声の市政だよりを録音されています。「ごみ、し尿収集の日程だけでなく、ふるさとむかしばなしなどもおもしろく聞かせてもらっています。しかし、市はいつまでもボランティアにおぶさっていてはいけないのじゃないですか…」との意見も聞きました。

国際障害者年シンボルマーク

福祉の風土づくりへ

市では、身体に障害のある人などハンディキャップを持った人々が、健常者と同様に日常生活、社会生活が営めるように、建築物・道路・公園など社会環境の整備促進と福祉の風土づくりをめざし、多くの市民参加を得て「福祉環境整備基準」の策定をすすめています。このハンディキャップを持った人々のための生活環境改善が老人、子どもを含め、すべての市民にとって住みよいまちづくりにつながっているのです。



青空市民相談

11月14日 木幡公民館で

広く市民のみなさんの声を、市長や助役が直接お聞きする『青空市民相談』を開催。今回は東宇治地域で行いますが、十一月十四日(土)の午後一時半から四時まで、今年開館した木幡公民館で開きます。

この相談には池本市長はじめ各部長などが出席し、みなさんと対話を深め、ご意見やご要望などをお聞きするものです。

お気軽にご参加ください。

55年度決算案から

累積赤字を完全解消

財政自主再建を達成

市では、市議会の九月定例会に昭和五十五年度の各会計決算案を提出。いま、決算特別委員会で審議がすすめられています。なお、決算書では五十五年度実質収支で二億九千八百九十二万円の黒字決算となりました。このことで、昭和五十二年度末にあった七億二千六百万円の累積赤字がすべて解消され、財政自主再建計画が二年短縮して達成されることになりました。

昭和55年度会計別決算収支の状況

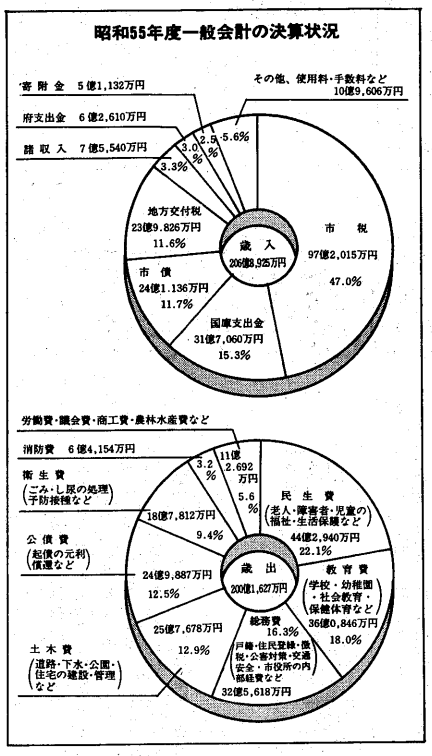
区分 / 会計名	歳入総額(A)	歳出総額(B)	歳入歳出差引額(C) (A)－(B)	翌年度へ繰り越すべき財源(D)	実質収支(E) (C)－(D)	単年度収支
	円	円	円	円	円	円
一般会計	206億8,925万	200億1,627万	6億7,298万	3億7,406万	2億9,892万	5億523万
〈特別会計〉農業共済事業	2,331万	2,109万	222万	0	222万	225万
交通災害共済事業	5,003万	4,842万	161万	0	161万	△831万
国民健康保険事業	31億1,603万	30億9,026万	2,577万	0	2,577万	△4,892万
公共下水道事業	17億1,687万	17億1,687万	0	0	0	0
住宅新築資金等貸付事業	3,936万	3,661万	275万	275万	0	0
水道事業	17億8,261万	19億6,559万	1億8,298万	△2億9,878万	△4億8,176万	－

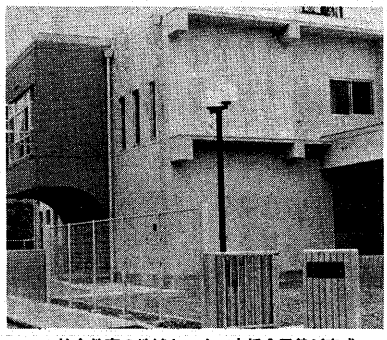
実質収支 2億9千892万円の黒字

昭和五十五年度一般会計決算案では、歳入歳出差引額（形式収支）で約六億七千二百九十八万円の黒字となりました。これに五十六年度へ繰り越すべき財源三億七千四百万円を差し引くと、実質収支額は約二億九千八百九十二万円の黒字となっています。

五十四年度末の累積赤字額が約二億六百万円でしたが、五十五年度単年度で、五億五百二十三万円の黒字となります。

昭和三十年代後半からの人口増に伴う学校建設などの支出増、経済の高度成長から低成長への転換という状況のもとで、昭和四十五年に一般会計が赤字決算となり、昭和五十二年度には十四億円を超える累積赤字が予想されるという状態に陥った宇治市も、昭和五十五年度の決算で、累積赤字を解消し、健全財政への第一歩を切り開くことになります。




▲社会教育の地域センター木幡公民館が完成

▲すすむ都市計画街路宇治白川線拡張工事

計画的行財政を推進

昭和五十三年度を初年度とする財政自主再建計画は、五カ年で累積赤字の解消と財政体質の改善を図ることを目的に策定したものですが、五十五年度で累積赤字を解消したことにより計画を二カ年短縮することができました。これは、市民のみなさんや議会のご協力を得て、難局に対処した結果だといえます。

市の財政体質の改善は、累積赤字の解消だけでなく、再び深刻な財政危機に陥ることなく、計画的で健全な行財政の運営への努力が必要です。

豊かなふるさとづくりへ全力

昭和五十五年度の一般会計歳入歳出予算は、「都市基盤整備"豊かなふるさとづくり"実現への第一歩をふみ出すとともに、市の公共料金の据え置き、福祉のきめ細かな充実など市民生活の防衛に重点を置く」との基本方針にもとづき編成し、執行しました。

主な事業では、市民文化センターの建設費（用地買収、造成など）に六億一千三百十五万円を支出するなど都市基盤整備を積極的にすすめました。そして、都市計画事業では、都市計画街路宇治・白川線の整備事業に三億三千万円を支出。さらに、木幡公民館集会所、公共下水道、道路・河川・橋の改良補修など暮らしの周辺整備を重点的にすすめました。

体質の改善・強化が今後の課題

五十五年度は、財政自主再建計画と総合計画にそって行財政を強力に推進した結果、大きな成果を収めました。

しかし、人口急増期の義務教育施設建設の公共投資は、今日、なお少なからぬ負担となっています。さらに、この間のまちづくりの立ち遅れも否めません。

このためにも、総合計画の実施計画を積極的に実施に移すとともに、何よりも財政体質の改善・強化が今後の課題だといえます。

ふるさとむかし話 ⑭

夢に終った明治の鉄道計画

宇治市のなかに鉄道が敷かれ、客車を連結したSL（蒸気機関車）が走るようになったのは、明治二十九年（一八九六）のことでした。なだらかな起伏を見せる茶ばたけに煙をなびかせて進む力強いそのすがたには、近代文明を象徴するような、たのもしさが感じられたことでしょう。

その年の一月二十五日、市内にある木幡・宇治・新田の各駅が開業してSLが京都―玉水間を往復することになり、四月になると奈良までの全線が開通しています。京都―宇治・京都―奈良の片道乗車料金（下等）は、それぞれ十二銭・三十四銭と定められ、開業直後の一週間は半額サービスで、お客を乗せたということです。

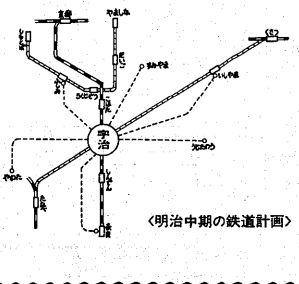
この鉄道は現在の国鉄奈良線ですが、当時は私鉄で、奈良鉄道と呼ばれていました。その後、一時関西鉄道と名を変え、明治四十一年（一九〇八）から国鉄奈良線になっています。また、はじめのころの京都―桃山間は、いまの近鉄京都線の道すじを経由していたのですが、大正十年（一九二一）八月一日に稲荷と桃山のあいだが結ばれて、現在のようになりました。

ところで、奈良鉄道が開通したころには、宇治を通る別の鉄道を建設する計画が、たくさんありました。たとえば、綴喜郡の田辺町から、宇治を通って滋賀県に向かい、石山を経て東海道本線の草津駅までを結ぼうという山江鉄道、京都市の下鳥羽から伏見―六地蔵―醍醐―山科までの伏見鉄道などがそれです。

さらに、当時すでに京都と伏見のあいだには日本最初の電車が営業をはじめていましたから、宇治を中心とする電気鉄道の計画も、つぎつぎに立てられていたのです。それは、奈良・石山・八幡・宇治田原・伏見・炭山などと宇治を結ぼうというものでした。

でも、そのほとんどは実現せず、まぼろしの線路となってしまいました。もし完成していたら、きっと便利な鉄道になっていたでしょうね。

（歴史資料室）



〈明治中期の鉄道計画〉

ろうあ者の自立をめざそう

セザル・マガロットさんの講演から

市では、国際障害者年と市制施行三十周年を記念して、世界ろうあ連盟事務局長のセザル・マガロットさんを招いて講演会を開催。そこで「よりよい教育・コミュニケーション・情報を通して、社会における平等と参加」をめざして活動されているマガロットさんの講演のあらましをお知らせします。一人でも多くの市民のみなさんに、障害者問題についてご理解いただきたいと思います。

ろうあ者の状態を理解するためには、まず聴覚の役割を知らなければならないと思います。そうすることで、ろうあ者の困難な面や、ろうあ者の置かれている現状も理解できると思います。

聞こえるということは、自然的で自然なもので、生活の中で心理的にも、聞こえることは、あたりまえのことだと誰もが思っています。そのため、聞こえない障害のために起こる問題や不自由は、他の障害者に比べるとまったく目立ない障害です。

聴覚は、人の発達において重大な役割を果しています。聴覚は子どもが少しずつ成長するための根本的な助けです。

ヘレン・ケラーも、「一番大事な刺激は声の音です。この音は言葉を作り、考えを起こし、知的な一致を通して他の人々といっしょに生きることをうながすからです」と言っています。

独立、自立的な生活に達するために、子どもは必要な多くの知識を言葉を通して得ます。（言葉を聞くことで）何が言われているかということを聞くだけでなく、どのようにしてその言葉が言われているか、声の抑揚やアクセントの変調などを知り、その言葉が生きていることを知ります。

また聴覚は、人間の心理的な発達において根本的な役割を果たすだけでなく、社会との関係においても重要なものです。

人間は、絶え間なく多くの情報を得て、人々とのコミュニケーションによって考えを伝え、また一方で、感情、命令、注意、おだやかし、教えなどの文明のリズムを作る多くのメッセージを得ることができるのです。さらに、聴覚を通じ人々の生きがいとなっている希望や活発な活動がある環境と関係を作ることができるのです。その結果、人間は自分の生活に新しい範囲をなげることになります。

以上のように聴覚の役割を考えてみると、聴覚障害はいかに人間の心理的な構成の上で重大な困難をもたらすかわかると思います。

情報不足が……大きな障害に

ろうあ者のより大きな問題は、聞こえないということよりも、他人の話が聞けないことやコミュニケーションの特徴である相手の話し方のニュアンスを握むことができないことです。それに、情報の分野が狭く、一般の人が新聞を読めない程狭いものです。

とくに、仕事についての情報が少なく就職が困難だとか、ろうあ者の両親による聞こえる子どもたちの教育、結婚に関する問題、裁判所における色々な争いなどのときあらゆる情報に不足しているため困難が生じています。

▲国際的視野から語るマガロットさん（10月20日市民会館で）

不自由さの解決は……援助と接する態度に

大部分の国では、ろうあ者の職業の選択は制限され、経済的にも損失を引き起こしています。ほとんどのろうあ者の収入は、聞こえる人の収入よりもかなり、その上昇速度などや特別の任務が与えられることはめったにありません。逆に自分の障害のために支出が増え苦しいばかりです。

さらに知的活動やレクリエーションに関すること、テレビ・ラジオ・電話の使用などにも非常に制限されています。

結局、一番苦しいことは、話す人の言葉が聞こえない、一生懸他人と話し合いができないことだと思います。このため障害者には心理的な影響が大きく、例えば、目による印象についても、音が聞こえないため自分に不安が残っていて、回りの人々や環境になじめないため、はっきり判断ができないことです。

今まで申し上げたろうあ者の状態は、私の考えですが、あらゆる援助と、多くの人々の接する態度によって少しでも緩和されるのではないかと思います。この援助と態度はとくに国連で、七千万人のろうあ者の代表をはじめ、医者や社会学者、心理学者などによって満場一致で承認された「聴力障害者の人権」についての宣言」に基づかなければならないと思います。

今年は国連によって国際障害者年と定められていますがろうあ者のスローガンは「よりよい教育・コミュニケーション・情報を通して社会における平等と参加」です。

社会生活とその活動にろうあ者自身も参加するために、最近いろいろな方法や技術的な手段が作られています。

世界ろうあ連盟は、コミュニケーションのすべての妨げが取り去られるように特別な提案を国連にしました。すべての国が、このような願いに賛成するように祈っています。

コミュニケーションの妨げは、人と人とを遠ざけるもので、私たちはこれを取り去るため一生懸命に闘わなければなりません。ろうあ者が普通の人と同じように、すべての権利をもっているということを聞こえる人や社会の公の団体にたびたび訴えていますが、なかなか認められないのです。

ろうあ連盟のメンバーによって偏見に対する闘い、ろうあ者が一人で話すこと、行動することなど自立という権利が認められるように、はっきりした態度を示し、権利を固く守り、また他の人にも守らせるようにしなければなりません。

消費者コーナー 52

約96%が添加物に不安

消費者意識アンケートから、食品添加物についての関心度をお知らせします。

◇

買物をするとき、私たちは、袋に書かれている品質表示を見ているでしょうか。

今回の調査では、注意して見ている（時々見るも含む）が九六・六%で、昨年とほぼ同じでした。また添加物に対し感じている（少し感じているも含む）が、九六・四%とほとんどの人が添加物に強い不安感をもっているという結果がでました。

「食品添加物は必要と思うか」という問に対し、表Iのとおり、「必要である」「ほとんど必要である」が合わせて八八%、「ほとんど必要でない」「全く必要でない」が六・五・七%と必要でないと答えた人が半数を超え、昨年より五・六%増えています。

それでは、無添加食品の購入についてはどれくらいの人が購入されているか表IIでは、なんらかの形で九一・五%が購入されています。買わない理由としては、「身近に売っていない」、「高い」、「いたみが早い」などがありました。

334種もの食品添加物

食品添加物は、現在三百三十四種の使用が認められ、このうち約二百種は、使用してよい食品、使用目的、使用限度量が決められています。最近は、使用が認められていてもできるだけ添加をひかえたり、使用量を減らす食品が多くなっています。

これらの食品添加物の主な使用目的は、食品の製造に不可欠である、食品の製造を確保する、細菌の繁殖を防ぐ、食品の鮮度を保つ、食品を魅力的にするなどです。

使用については必要最小限にとどめるとともに、無添加食品の販売ルートを確立してほしいものです。

まとめ

食品の品質表示は、消費者が購入するとき唯一知りうる「情報」です。ですから、この情報を大切にし、多くの添加物が使われている食品は避けるようにしましょう。

また、製造者側も、最小限使用するという認識をもってほしいものです。

（商工観光課）

消費者意識調査

食品添加物についての調査

食品添加物は必要だと思われますか。
①必要である ②ほとんど必要である ③ほとんど必要でない
④まったく必要でない ⑤わからない

表I　①4.5 ②3.5 ③57.5 ④8.2 ⑤23.4 無回答2.9

無添加食品（食品添加物を使用していない加工食品）をあなたは買っておられますか。①よく買っている ②時々買っている ③買っていない

表II　①29.0 ②62.5 ③5.3 無回答3.2

市制施行30周年記念

秋の講演会

申込みは電話かはがきで宇治市公民館へ

宇治市の発展と水害問題

11月21日(土)午前10時～12時
京大防災研究所教授　角屋　睦さん

西宇治地域を例に、都市化にともない豪雨時の出水やはんらん形態がどのように変化してきているか、また今後注意すべき点などを講演。

キノコの利用と栽培

11月26日(木)午後2時～4時
京大食糧科学研究所教授　萬西善三郎さん

食用きのこの栽培方法などについてカラースライドを使っての講演。

国際障害者年特別講座

今年は国際障害者年。教育委員会と市では、社会福祉協議会のボランティアセンターと、宇治市身体障害者福祉協議会の協力をえて、市民とともに学習を深めるため特別講座を開きます。

▼日程とテーマ…表（時間は午後7時～9時）▼ところ：木幡公民館▼定員：百人▼申込み：木幡公民館へ。電話または直接来館のうえ申込んでください。

（公民館）

日程とテーマ

	日時	テーマ	講師
1	11月20日(金)	国際障害者年にあたって　人間の生き方を考える	龍谷大学教授　杉本一義
2	11月27日(金)	ともに生きる町づくり	車椅子で歩ける町づくり調査委員会　優政和
3	12月3日(木)	障害者福祉の人間学	龍谷大学教授　杉本一義
4	12月11日(金)	障害者のくらしと社会参加	龍谷大学教授　寺嶋久男

◇

親子スケートデー

冬を前に親子そろって正しいスケート技術を学んでみませんか。

▼とき：12月6日(日)、午前10時～午後3時▼ところ：伏見桃山アリーナ▼対象：市内在住の市民（小・中学生は保護者同伴のこと）▼定員：五百人（先着順）▼費用：五百円（貸靴料、貸靴は、小・中学生は三百円、高校生以上は五百円が必要）▼申込み：往復はがきに、代表者の住所、氏名、年齢、電話番号と参加者全員の氏名と年齢及び、「親子スケートデー希望」と書いて、宇治市公民館へ、11月30日の消印まで受付。

（宇治市公民館）

◇

秋の学習会II

宇治児童文庫連絡会では、「子どもの読書と図書館づくり運動」をテーマに学習会を開きます。

▼とき：11月26日(木)、午前10時～正午▼ところ：宇治市公民館▼講師：松原孝子さん▼申込み：当日直接会場へお越しください▼保育：2歳以上の子ども10人。希望する人は竿嶋紀代子さん（☎0774-22-9217）へ。おやつ代実費必要。

（宇治市公民館）

公民館のお知らせ

◎宇治市公民館…宇治里尻71の9（☎㉑2804）
◎宇治市木幡公民館…木幡内畑34の7（☎㉜8290）
◎宇治市小倉公民館…小倉町寺内91（☎㉒4687）

糖尿病の集い

11月21日 保健医療センター

十一月三日から〝糖尿病週間〟がはじまります。

そこで宇治久世医師会では、糖尿病への理解を深めてもらおうと第五回「糖尿病の集い」を開きます。今年は、栄養士の数もややして、より親切に栄養相談ができるよう計画されています。

毎年多くの市民に参加いただいています。患者のみなさんやご家族、そして糖尿病に関心をお持ちの人もお気軽にお越しください。入場は無料です。

▽とき…11月21日(土)、午後1時から

▽ところ…宇治市保健医療センター（宇治市役所前）

〈内容〉

▽映画…あなたも仲間

▽講演…糖尿病の養生法、講師は済生会静岡病院医師の石塩健一さん

▽低カロリー食の試食

▽食事療法の指導、健康相談

10日から 市民健康教室

宇治久世医師会では、市民のみなさんに健康について考えていただこうと、健康教室を開いています。入場は無料ですので、お気軽にお越しください。

とくに今回は、老人の健康についていろいろな面から考えてみようとするもので、第一回はすでに十一月十日に「老人の幸せを考える」というテーマで行われています。

▽11月14日(土)、京都銀行大久保支店で、「成人病の予防」、講師は医師の松下嘉和さん

▽11月19日(木)、木幡公民館で、「お年寄りの心」、講師は医師の石田衛さん

▽11月25日(水)、保健医療センターで、「老人の胃かいよう」、講師は医師の竹村修三さん

いずれの会場も午後2時から三時半まで。（保健衛生課）

お知らせ

募集

市民吹奏楽団員

市民吹奏楽団は今年五月に結成されましたが、団活動の充実を図るため団員を募集しています。

▼資格…音楽の愛好者で市内に居住あるいは勤務、通学（高校生以上）する人で性別は問いません▼問い合わせ…社会教育課へ。（社会教育課）

◇

市立幼稚園児

市では昭和57年度の宇治市立幼稚園児（一年保育）の募集を引きつづき行っています。

応募される人は、入園希望幼稚園へ幼児を同伴のうえ、印鑑をご持参ください。ただし、保育時間の関係から午後2時以降にお願いします。

▼募集幼稚園…菟道（☎21-2703）、槇島（☎21-2708）、伊勢田（☎21-5033）、大久保（☎41-7224）、平盛（☎44-7447）、神明（☎22-0495）、東宇治（☎31-8259）、木幡（☎29-4339）。（学校教育課）

案内

街灯料金の補助

市では、町内会・自治会管理の街灯に電気料金を補助します。

補助する額は、町内会などの区域内に設置の街灯基数に、蛍光灯20ワットの定額料金（1カ月分）を掛けたものの3分の1、または10月分の街灯料金の3分の1のどちらか低い方の額の12カ月分です。

すでに、各町内会や自治会の会長さんあてに申請書を送っていますので、11月30日までに都市整備矢対事業課へ。（都市整備矢対事業課）

◇

古文書講習会

古文書の解読・取扱い方や保存について理解を深めていただくため、第12回古文書講習会が開かれます。

▼とき…昭和57年1月5日～7日まで▼ところ…京都府立総合資料館（京都市左京区下鴨半木町）▼受講料…無料（ただし、テキスト代二千円が必要）▼問い合わせ…申込み方法などくわしいことは、直接資料館（☎075-781-9101）まで。（歴史資料室）

◇

インフルエンザ予防接種

インフルエンザの予防接種が11月19日から始まります。

対象は満3歳以上の保育所、幼稚園、小学校、中学校の児童・生徒で、学校などで受けられなかった人です。

体温をはかり、保護者同伴でお越しください。日時、会場は保健予防日程表をご覧ください。なお、12月12日(土)にも保健医療センターで行います。（保健衛生課）

催し

エスペラント初等講習会

エスペラント語の講習会を開きます。

▼とき・ところ…開会式分館で11月16日から毎週月曜日の午後6時半～8時半、広野集会所で11月18日から毎週水曜日の午前9時半～11時半、いずれも6カ月間で▼受講料…月額四百円とテキスト代六百円▼申込み…宇治エスペラント会の中村日出男さん（☎22-2047）か、加藤慶子さん（☎41-6200）まで。当日会場でも受付けます。（社会教育課）

◇

交歓吟詠大会

宇治市交歓吟詠大会が開かれます。入場は無料です。

▼とき…11月22日、午前9時から▼ところ…宇治市民会館大会議室。（社会教育課）

◇

スポーツひろば

▼とき…11月15日、午後1時～3時半▼ところ…三室戸小学校▼種目…卓球。

直接会場へお越しください。（社会教育課）

水質問題を考える (下)

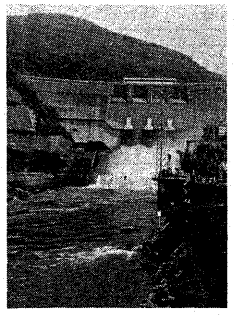
トリハロメタン 生成の抑制に努力

一九七四年、米国環境保護庁（EPA）は、ニューオーリンズ市の水道水から発ガン性物質が検出されたと調査報告しました。とくにトリハロメタンが顕著で、発ガン性の物質として社会問題となり、宇治市でも先の九月定例議会で論議されました。

水の消毒法として採用されている塩素処理によって、トリハロメタンが生成されるといわれています。トリハロメタンとは、メタン（CH_4）の三つの水素原子と、ハロゲン元素であるフッ素（F）、塩素（Cl）、臭素（Br）、ヨウ素（I）のうち一から三種までが置換したメタンの多ハロゲン誘導体の総称です。

その後、我が国の厚生省を中心に調査研究され、現在トリハロメタンの制御目標レベルを米国と同値の総量規制値一㍑当り〇・一㍉㌘以下としています。

宇治市水道部では、この規制に基づいて総量規制値内にトリハロメタンの抑制に努めています。原水に含まれるフミン酸などの微量有機物がトリハロメタン生成の原因物質であることや、水源での富栄養化もこの原因物質増加に関係していると考えられること、これらのことから取水後に塩素を用いて凝集沈でんさせ、原因物質の量を減少させています。また塩素処理工程で塩素と原因物質の接触時間を短縮する方法、あるいは浄水の過程で活性炭処理をする方法など、トリハロメタン生成の抑制に努力しています。



水は大切な資源です（天ヶ瀬ダム）

汚染防止は緊急課題

ところで、河川の水が汚染され、トリハロメタン生成の原因物質が増加しています。河川の汚染防止は緊急な課題です。

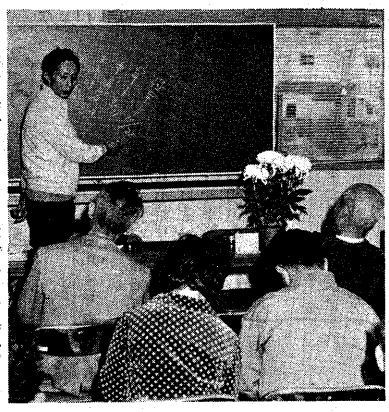
宇治市水道部では、浄水場から河川に排水をする時に、BOD値、COD値など汚染指標で汚染度の計測を厳密に実施、汚染防止に努めています。

河川は、水を供給してくれる大切な資源です。汚さず大切に守りましょう。（水道部）

（BOD、COD）水質汚濁の指標。BODとは、生物化学的酸素要求量＝消費量である。CODとは、水中の有機物などが微生物によって生物学的に分解される際に消費される酸素量をPPMで表わしたもの。

カメラルポ

十一月一日から三日までの間、宇治市公民館を中心に〝秋の市民文化祭〟が開かれました。この文化祭は、生活の中に文化をとり入れ、地域の文化を創造しようと開かれたもので、今年で二十九回目を迎えました。



▶来年の菊づくりは……愛好家による菊づくり講習会（商工会議所）

市民の力作を展示

秋の市民文化祭

◀市民の力作が並ぶ生花展（宇治市公民館）

不用品情報センター

（ゆずります）

☆

ベッドのマット、げた箱、温風ヒーター、子供用自転車（14インチ）、8ミリカメラ。

（ゆずってください）

☆

応接セット、まくらびょうぶ、男子用自転車（20インチ）、エレクトーン、カーペット。

☆

今までに成立したものでは、プロパン用オーブンや電気オルガンなどがありました。このほか、家具や一般家庭用品、学習用品など、希望を提供を問わず、どんどん登録してください。（商工観光課）

まだまだ使えるけれど、活用していないものがあれば〝不用品情報センター〟に登録してください。

交渉は当事者間で行い、結果は報告していただきます。なお、五十六年度の事業は、今月末で終了します。

登録や問い合わせは市役所商工観光課（☎22-3141内線264）まで。